

目標達成計画

作成日 平成24年2月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	昨年の計画に揚げ取り組みを行うもグループホームの独自の訓練を実施することはできていない。夜勤体制も一名であるために、3階よりの避難誘導にも多くの問題点もある。また、夜間に迅速に応援を実施するためにも、訓練の計画が必要である	全職員が、緊急時の連絡方法やマニュアルの確認、物品用具の保管場所・備蓄品の場所、消火器の使用方法・位置の確認。スプリンクラーの設置などの確認を共有。夜間夜勤時の避難誘導のリスクを考慮、訓練を実施することで、入居者様の安全を優先にスムーズに誘導が行えるようになる。	地域の消防団との連携を行い、運営推進会議で相談・協力の依頼をする。具体的な取り組みの方法を計画し、夜間一人夜勤時想定での避難誘導を安全な方法で全職員が取り組む。緊急時の連絡連携を速やかに実施できるように訓練を計画実施する。	12ヶ月
2	49	企画の提案をして入居者様は外出されていますが、全体企画となり個人として参加の少ない方もあります。また、各入居者様の満足度についての聞き取りを実施していますが、普段行けない場所の希望も聞き取りではあるが実現出来ていない場合もある。	本人の希望を時間をかけて聞き取り普段に行けない場所の個人外出を計画。家族とも相談し年に1回、9名の方が希望する外出が家族と共に実施できるように。また、本人の外出の希望が具体的に実現できることで生活に目標を持ち、個人が一層生き生きとして生活出来るために。	職員・ケアマネ・管理者がチームで個人の希望外出の聞き取りを実施して、家族との相談・協力の依頼を行い、具体的な計画を立案してスムーズに実施できるように、職員は業務の各自見直しをして自分の役割の把握・計画の目的を理解・連携できるように企画に参加・協力する。各職員が積極的に提案・検討・課題に取り組む。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。